

# 平成24年度 鹿児島県社会福祉協議会事業計画について



平成24年度の予算、事業計画等を審議する鹿児島県社会福祉協議会の理事会が3月27日、評議員会が3月28日開催され、本年度の事業方針等が決定されました。厳しい経営状況の中ですが、各方面のご協力の下全力を傾注して参ります。

## 事業方針

市町村を基盤とした地域福祉の推進が図られる一方、都市と地方の格差の拡大、「限界集落」の顕在化、高齢化の急速な進展や高齢単身世帯の増加を背景とした社会的孤立が懸念される高齢者への支援、介護福祉分野での人材確保の難しさ、高齢化の進行やデフレ経済のもとでの厳しい雇用情勢の影響で生活保護受給者は毎年増加しています。

昨年3月11日に発生した東日本大震災と原子力発電所の事故は未曾有の被害をもたらし、多くの方々への貴重な人命が失われ、被災地においては長期間かけて復旧・復興そして復興に向けた取り組みが進められております。

国においては、国民が安心して生活できる社会基盤の整備のための「社会保障・税一体改革」を進めるため、平成24年通常国会に関連法案を

提出することとしており、また、改正介護保険法の施行、「子ども・子育て新システム」の創設、障害者総合福祉法の法案化といった取り組みも進めております。

こうした基本認識のもと、地域福祉の中核的推進組織である県社協は、多様な福祉ニーズに的確に応え本県の地域福祉を推進するため、平成24年度の基本目標を次のとおり定め、全力を傾注してまいります。

具体的な事業の中では、長期的な展望のもとに立った鹿児島県社会福祉協議会の総合的な計画策定をはじめ、県からの受託事業「暮らし安心・地域支え合い推進事業」、福祉・介護人材確保のための「福祉・介護人材確保緊急支援事業」、失業者や低所得世帯の方々を支援する「生活福祉資金貸付事業」での迅速・的確な対応、長寿社会に対応した長寿

社会運動の推進、雇用促進のための公募型事業に積極的に取り組んでまいります。

## 基本目標

- 1 地域福祉活動の推進
- 2 障害福祉・高齢者福祉・少子化対策等、社会保障制度への的確な対応
- 3 ボランティア活動の促進
- 4 福祉相談活動の推進
- 5 社会福祉施設・団体の活動促進
- 6 福祉サービスの利用支援及び苦情解決の推進
- 7 福祉人材の養成・確保の推進
- 8 生活福祉資金等の貸付制度的な確な運用と債権管理の推進
- 9 すこやか長寿社会づくり運動の推進

## 鹿児島県の地域福祉の推進

鹿児島県における社会福祉事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化

I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII	
会務の運営並びに連絡調整等	広報活動等の推進	地域福祉活動の推進	制度改正等対応市町村社協支援事業	障害福祉相談体制整備特別支援事業・障害福祉人材育成研修事業	ボランティア活動の促進	すこやか基金による援助活動	福祉相談活動の推進	社会福祉施設・団体の活動促進	苦情解決の推進	福祉サービスの利用支援及び	福祉人材の養成・確保	介護実習・普及センターの運営	民生委員児童委員活動の充実強化	生活福祉資金貸付事業の推進	すこやか長寿社会づくり運動の推進	県社会福祉センターの管理・運営	公募型雇用創出促進事業